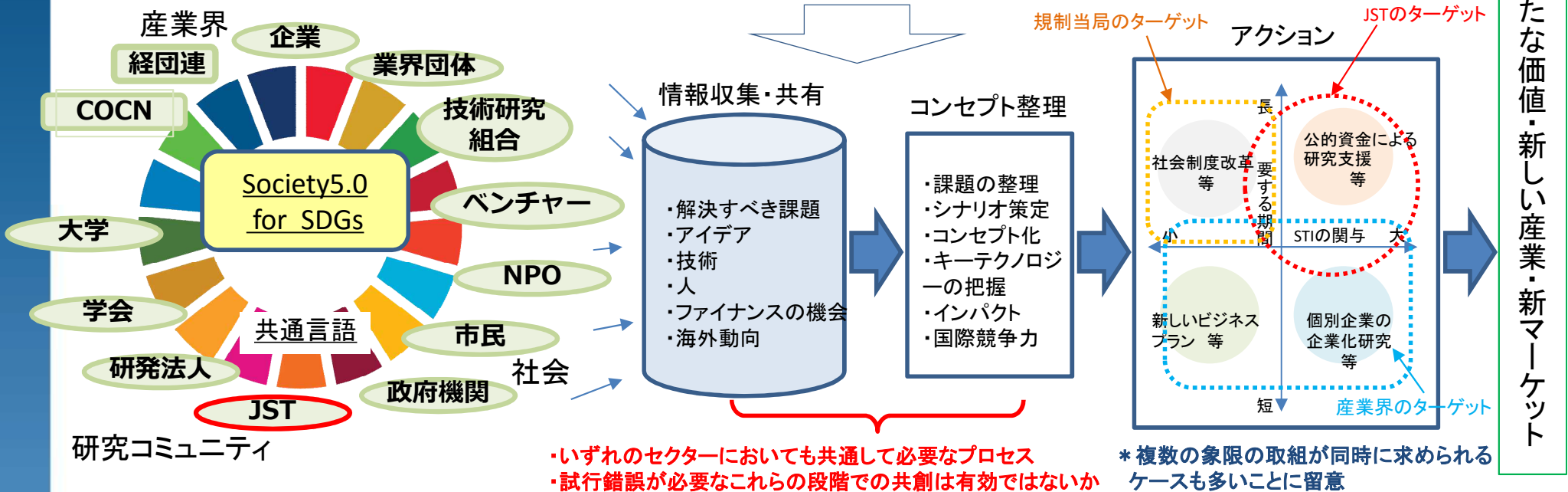


# 共創のためのダイアログ・フレームワークの試案

## ～ Society5.0 for SDGsの実現に向けた対話の仕組みの構築 ～

産学官いずれのセクターにおいてもSociety5.0の実現へ向け共創による戦略策定が不可欠

- ・未来思考、システム思考、非リニア思考での政策立案
- ・全体を俯瞰しつつ、柔軟で機動的な戦略立案
- ・「サイロ化」を打破し、相互に関連する複雑な課題解決へ向けたコンバージェンスが必要



・いずれのセクターにおいても共通して必要なプロセス  
 ・試行錯誤が必要なこれらの段階での共創は有効ではないか

\* 複数の象限の取組が同時に求められるケースも多いことに留意

### <提案1>

**Society5.0 for SDGs ビジョニングフォーラム**  
 ・サイエンス・アゴラ\*を活用し、Society5.0 for SDGsの全体像を俯瞰し、強化すべき戦略分野等について議論するステークホルダーフォーラムを定着化  
 ・産業界からもセッションの企画提案を  
 (\* 科学と社会をつなぐ対話の場、JST主催、毎年お台場地区等で開催)

### <提案2>

**SDGsコンバージェンス・キャンプ**  
 ・産業界・研究コミュニティ・政府関係者等、異なる分野・セクターの若手を参集し合宿形式でHorizon Scanning  
 ・投資すべきエマージング・テクノロジーについての徹底討議  
 ・未来社会創造事業と連動。テーマ検討に活用。  
 ・産業界からのサポートも期待(冠スポンサー制など)

### <提案3>

**産業界と大学等が『深く対話する共創の場』のアレンジ**  
 ・JST研究開発事業(特に基礎的研究フェーズ)の知見を基に、基礎研究へ『企業視点』で布石したい企業に対し、  
 ・候補研究者の紹介、共同研究の助言  
 ・未公開情報を含む研究情報のご提供